

2025 年度 自己点検・評価

評価方法

- ・A:「達成されている」あるいは「適合している」項目。
- ・B:「一部未達成」であるが、1年を目途に達成あるいは適合が確実な項目。
- ・C:「未達成」あるいは「適合していない」項目。

点検・評価項目	評価
1 教育の理念・目標	
1-1 理念、目的および育成する人材像が定められている。	A
1-2 理念、目標が社会の要請に合致していることを確認している。	A
1-3 理念、目標及び育成する人材像が、教職員および学生に周知されている。	A
2 学校運営	
2-1 認定日本語教育機関の認定基準または日本語教育機関の告示基準に適合していることを年 1 回以上確認している。	A
2-2 校長、主任教員、本務等教員、非常勤教員、事務統括者、事務職員の職務内容および責任と権限を明確に定め、教職員間で周知されている。	A
2-3 管理、運営のための諸規定を整備し、規定に基づいた運営が行われている。	A
2-4 予算編成が適切に行われ、明確なルールにより執行している。	A
2-5 短期及び中長期の目標が教職員間で周知されている。	A
2-6 運営や教育活動に必要な情報を教職員間で共有する仕組みがあり、機能している。	A
2-7 コンプライアンス意識向上のための担当者を定めて取組を行っている。	A
2-8 関係官庁への届出、報告を遅滞なく行っている。	A
3 情報公開	
3-1 設置者、教育内容、定員、進路等の情報をホームページ等で公開している。	A
3-2 募集及び納付金に関する情報を公開している。	A
3-3 入学希望者やその関係者に理解できる言語で情報提供を行っている。	A
3-4 公開されている情報は常に最新のものに更新されている。	A
4 入学者の募集と選考	
4-1 教育目標に合致した募集計画を立案し、募集地域や対象者を定めて募集活動を行っている	A

4-2	機関に所属する職員が入学希望者に対して情報提供や入学相談を行っている。	A
4-3	海外の募集代理人に最新かつ正確な情報提供を行っている。	A
4-4	海外の募集代理人の適切性を確認し、募集活動を具体的な情報により把握している。	A
4-5	受け入れる教育課程の教育内容が入学志願者のニーズと合致することを確認している。	A
4-6	入学選考基準及び方法が定められ、適切な体制で入学選考を行っている。	A
4-7	入学志願者の学習能力、学習意欲、日本語能力等を確認している。	A
4-8	入学志願者の情報を正確に把握し、提出された根拠資料で確認している。	A
4-9	不法残留者を多く発生させている国からの志願者には機関所属職員が面接等の調査を行っている。	A
5 教育活動		
5-1	理念と教育目標の達成のためのカリキュラムを編成している。	A
5-2	学生の熟達度を「日本語教育の参照枠」の枠組みの中に位置づけて理解する試みを行っている。	A
5-3	理念および教育目標に合致した教材が選定、又は制作されている。	A
5-4	教育活動の計画が教員全体に周知されている。	A
5-5	学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。	A
5-6	当該学期の学習内容および学習予定等を学生に開示している。	A
5-7	出席簿を備え、正確に記録している。教育活動の振り返りと改善にいかせるような形で授業記録簿を残し、関係教員間で共有している。	A
5-8	学習成績の判定基準および方法が定められ、開示されている。また、判定結果を的確に学生に伝えている。	A
5-9	授業を含む教育活動全体を検証するための体制、方法および評価の基準を定めている。	A
5-10	学生からの評価も含む、多方向的な評価システムが導入されている。	A
5-11	評価結果が教育内容や方法等のプログラム改善、教員の教育能力向上等の取り組みに反映されている。	A
5-12	評価システムを改善するための検討が常に行われ、実際に改善が行われている。	A
6 教職員育成		
6-1	教育目標の達成に必要な教職員の能力及び資質を明示して。	A
6-2	新任教員、初任教員を対象として、明示された必要な能力と資質を向上させることを目的とした研修を実施している。	A

6-3	所属する教職員を対象に、振り返りの機会を設け、情報の共有や成果の確認を行っている。	A
6-4	他機関が実施する研修会等への参加を促している。	A
7 学生支援		
7-1	留学生活に関するガイダンスを定期的 to 実施し、その効果を確認している。	A
7-2	留学生活に関する生活指導担当者が特定され、学生および教職員に周知されている。	A
7-3	日本社会、日本文化を理解するための活動を行っている。	A
7-4	進路指導担当者が特定されている。	A
7-5	学生の希望する進路を随時把握し、入学時から一貫した指導をしている。	A
7-6	進学に関する資料や情報を収集し、学生に提供している。	A
7-7	卒業後の進路を把握している。	A
7-8	健康、衛生面について指導する体制を整えている。	A
7-9	重篤な疾病や障害、交通事故に遭った場合の対応、及び感染症発生時の措置を定めている。	A
7-10	火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法等を定め、避難訓練を定期的 to 実施している。	A
7-11	必要な場合は母語による支援体制を整えることができる。	A
7-12	入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的 to 行っている。	A
7-13	不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者を発生させないための取り組みを継続的にを行い、発生を防いでいる。	A
8 施設・設備		
8-1	教室内は十分な照度があり、換気がされているとともに、必要な遮音性が保たれている。	A
8-2	視聴覚教材や ICT を活用した授業が可能な教育用機器及び設備が備わっている。	A
8-3	授業時間外に自習できるスペースおよびリソースを提供している。	A
8-4	法令上必要な設備を備えている。	A
8-5	廊下、階段等は緊急時に危険のない形状である。	A
8-6	バリアフリー対策を施している。	A
9 地域貢献・社会貢献		
9-1	小中学校の国際理解教育、ボランティア通訳等の地域活動への参加、地域の人々との交流活動を行っている。	A
9-2	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っている。	B

10 財務	
10-1 財務状況は、中長期的に安定している。	A
10-2 予算・収支計画の有効性および妥当性が保たれている	A
10-3 適正な会計監査が実施されている。	A

現状と課題
学校の施設開放については、地域での活用を見据えて前向きに検討・調整を進めているものの、その取組を地域に周知する仕組みが今後の課題である。また、本校の教育資源を活用した地域向けの日本語教育等についても、実施に向けた具体的な方策を現在検討している段階である。